

しあわせ

vol.533

2023年1月

H a p p i n e s s



謹んで新春の
ご挨拶を申し上げます



二〇二三年 年頭挨拶



「福祉はひとつ！」 皆で知恵と力を合わせよう！！

(一社)千葉県労働者福祉協議会 会長 鈴木 光

新年 明けましておめでとうございます。

旧年中は、新型コロナウイルス感染症拡大という状況下において、千葉県労働者福祉協議会の諸活動にご支援・ご協力をいただき、ありがとうございました。

私たちを取り巻く環境は、いまだかつて経験しない世界的な新型コロナウイルスの感染拡大も3年が経過し、経済・社会、国民生活は多大な影響を受け一変しました。現在、日本国内では第8波の段階にあり収まる気配は見受けられずワクチン接種は進んではいるものの予断を許さない状況下にあると云えます。

また、今般のコロナ禍とともに、

ロシアによるウクライナ侵攻は国際秩序を逸脱した戦争犯罪そのものであり、断じて許されるものではありません。加えて、世界経済(穀物・エネルギー)に極めて大きな影響をもたらしており、世界的な貧困・格差拡大、食料不足の一因となっています。

コロナ禍、ロシアのウクライナ侵攻の長期化とともに、円安、物価の高騰によって、貧困と格差がより一層深刻化し、仕事や住まいを失い困窮に陥った多くの人たち、医療崩壊の顕在化など日本社会におけるセーフティネットは危機に直面しています。

日本社会全体が雇用・経済・社会生活環境全般に渡り困難な状況

により、新たな社会の分断と孤立を突き進む状況について危惧せざるを得ません。

私たちは、中央労協協の「2030年ビジョン」の実現に向けて、コロナ禍における活動として、連携・情報の共有化に努めることとします。

更に、「誰ひとり取り残さない」という国連SDGsの取り組みとともに、「労働者共同組合法」により、新たな働き方の選択肢が増え、具体的な地域の活性化に結び付き、共生社会・共助の道が開ける年となることを切望します。

千葉県労働者福祉協議会は、「福祉はひとつ」を基本に、「連帯・共同でつくる安心・共生の福祉社

会」の実現をめざし、①「労働者福祉向上の運動」、②「労働者自主福祉運動と共同組合運動の推進」、③「震災復興・再生支援」、④「ちばライフサポートセンター事業」、⑤「野田市生活困窮者自立相談支援事業」等に会員・役員一同全力で活動を進めて参ります。

私たち、千葉県労働者福祉協議会は、当面する様々な諸課題について、会員・福祉事業団体・NPOの皆さんと知恵と力を合わせ、全力を挙げて頑張り抜くこととします。

皆様方のこの一年のご活躍と希望に満ちた年でありますよう心より祈念申し上げ年頭のご挨拶とします。



時代に適応した 役割の発揮に向けて

中央労働金庫 常務理事
千葉県本部担当 小谷 裕

あけましておめでとございます。皆様方におかれましては、家族お揃いで清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年中は、それぞれの立場の下で労金運動へのご理解・ご協力をいただきありがとうございます。ございました。

この3年間、新型コロナウイルス感染症の猛威により、経済・社会は大きな変化を余儀なくされました。雇用不安の増大、リモートワーク拡大等の働き方の変化、行動制限がもたらす経済・社会への影響等々、こうした変化を踏まえたウィズコロナ

時代への対応が必要となっております。中央労金としても、従来の取り組みを基本にしつつ、こうした時代に適応していくための工夫を引き続き進めていく所存です。

一方、昨年4月より成人年齢が18歳に引き下げられました。新成人の様々なマネートラブルが懸念される中で、福祉金融機関という立場からその防止に向けて各組合でのセミナーはもちろん、学校と連携して金融教育に取り組んできたところですが、この取り組みは一層強化してい

くことが必要と感じています。さらに現下の物価高騰は、働く人・生活者にとって対応すべき大きな課題です。労働者福祉を支える団体として家計の見直し運動をはじめとして、「生活防衛」のための知恵をみんなで出し合い厳しい環境を乗り切っていくきましょう。ろうきんも原点である働く人に寄り添った活動を展開していく所存です。

本年が皆様方にとって幸多き年となりますことを御祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。



挑戦と変革で 「新しいたすけあい」を

こくみん共済coop千葉推進本部
本部長 林 田 博 史

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中はこくみん共済coop千葉推進本部の運動と事業の推進にご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、本年度は「中期経営政策2022―2025」変革と創造「」の初年度となります。活動の基

調として、めざす姿への変革に挑戦し、環境が変化する中において「お役立ち」発想と「共創」活動に、デジタル技術を取り入れた「新しいたすけあい」を創造・実践していきます。「新しいたすけあい」を創造・実践する具体的な変革の姿、めざす姿として、「3つの姿（10の行動）」を定めました。「中期経営政策

2022―2025」変革と創造「」という名称は、まさに、業務も変革させながら新しいたすけあいを創造・実践するものであり、実現困難な課題に果敢に挑戦していく組織文化への変革と覚悟が試されることとなります。

私たちが推進している共済事業とは、「組合員が互いに守り合う、事業であり、運動であります」。つまり、自分の払い込んだ掛金が、不幸にも病気、事故や災害に遭った他の組合員に役立てられる共済金の原資となり、生活保障に役立てられているなど、たすけあいの心を土台にし

た仕組みであること、組合員にわかりやすく繰り返し繰り返し訴えかけていくことの重要性が増しております。理念である「みんながたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」の実現に向けて役職員一同、組合員のために全力で取り組んでまいります。

結びに、皆様のご健康とご多幸をご祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



安心して暮らし続けられる 地域社会をめざして

千葉県生活協同組合連合会
会長理事 首藤 英里子

謹んで新年のお慶びを申し上げますと共に、旧年中に千葉県の生協に寄せられましたご支援とご協力に対し厚くお礼申し上げます。

千葉県生活協同組合連合会には12の生協が加入し、組合員169万人、約4割の世帯の方が加入しています。生協は、豊かなくらしを営むために、組合員一人一人が力を合わせて共に運営している消

費者の自主的な協同組織です。その事業

は、食品の供給を中心として、共済・福祉・住宅などくらしの隅々にまで広がっています。あわせて、組合員同士のコミュニケーションを基礎に、食の安全・安心子育て支援や消費者問題、環境を守る取り組み、平和の取り組みなど、多彩な活動を行っており、多くの組合員が参加しています。



誰一人取り残さない社会の 実現に向けて

連合千葉
会長 永富 博之

あけましておめでとうございます。

昨年も新型コロナウイルス感染症に翻弄された年でした。未だ感染拡大の脅威は存在し、収束には道半ばですが、コロナ禍も既に3年が経過し、苦しい経験のもと積み重ねた知見により、様々な工夫や対策を施しながら経済の立て

直しに向かっています。

そのような中、国際情勢の不確実性を端に、物価高、円安が進み、コロナ禍との三重苦という状況に置かれています。中小企業などではエネルギーなど輸入に頼る原材料の高騰を価格に転嫁できない取引慣行により、働く者に

「コロナ禍による国際的な供給網の混乱や、ロシアによるウクライナ軍事侵攻の長期化などにより、記録的な円安と物価高が進行しています。特に生活必需品の価格が上昇しており、弱い立場の人々への影響は大きく、貧困問題や格差社会など、これまでもあった社会問題はさらに複雑化、深刻化しています。そのような中、千葉県生協連では、様々な団体と連携し、地域課題解決に向けた取り組みをすすめてきました。この間、継続しておこなっているフードドライブの取り組みや様々な団体と連携して、ウクライナから避難されてきている方同士の交流の場を定期的に開催してまいりました。

誰一人取り残さない持続可能な社会を目指す「持続可能な開発目標（SDGs）」は、多くの部分で生協の理念と重なります。生協の様々な課題に取り組むことがSDGsの目標達成に寄与することになると考えます。千葉県生活協同組合連合会では、各協同組合、地域で活躍する団体とともに、私たちの理念と重なるSDGs達成のために、安心してくらし続けられる地域社会をめざして一層の努力を重ねていく所存です。関係各位の引き続きのご支援ご協力を心からお願いして新年の挨拶とさせていただきます。

まで影響が及んでいます。また、実質賃金の低下傾向が続いており、コロナ禍で疲弊した経済状況と相まって厳しい状況が続いています。とりわけ経済的に弱い立場の方々への影響は深刻で、日々の生活がままならないといった声や、収入のみならず雇用の機会まで失われているといった悲痛な声も伺っています。

取組むべき課題は山積しています。経済・社会の原動力である賃上げと底上げ・底支え・格差是正に向け社会運動として取り組む所存です。

連合は、2023春季生活闘争において、賃上げを原動力とし経済・社会

構造的な課題からの脱却に向けた「未来づくり春闘」に取り組むことと

いて、賃上げを原動力とし経済・社会の構造的な課題からの脱却に向けた「未来づくり春闘」に取り組むことと

結びに、本年がみなさまにとってより多き一年になることをご祈念申し上げます。新年の挨拶いたします。



2023年 頭挨拶

労働者福祉中央協議会 会長 芳野 友子

新年明けましておめでとございます。

2020年初頭から始まった新型コロナウイルス感染症の拡大による経済・社会・国民生活への影響は現在も続いています。日本のセーフティネットの脆弱性が露呈する中、公的支援が行われているものの、長引くコロナ禍においては、一時的な支援から、継続した支援への強化が必要で、中央労福協も「ろうふくエール基金」を継続し、生活に困難を抱えている人たちの支援などに役立っています。これまで寄付をいただいた皆様へ改めて感謝申し上げます。

さて、世界に目を向けると、ロシアのウクライナ侵攻による平和問題や、物価上昇、気候危機など、先

行き不透明な状況に置かれています。平和や地球環境について、一人ひとりが意識を変え何ができるかを考え、小さなことでも行動に移していくことが必要です。「誰ひとり取り残さない」包摂的で持続可能な社会を実現するために、取り組みを進めていきます。

中央労福協は現在、「第3期奨学金制度改善・学費負担軽減」運動に取り組んでいます。給付型奨学金の中間層への拡大と、返済困難者への支援が喫緊の課題です。政府は授業料を後払いにする「出世払い方式」の検討を進めています。極めて収入額が低い場合でも返済を開始させるような制度設計となっています。

奨学金制度のさらなる改善にむけて、給付型奨学金創設を実現したときの

ように、みんなで大きなうねりを作り上げ取り組んでいくことが必要です。引き続きのご協力をお願いいたします。

私たちは今、目まぐるしく状況が変化する社会の中で、様々な課題への対応に迫られています。これまでの運動で培ってきた経験や、助け合い、支えあいの精神を糧に、時代に即した運動スタイルを取り入れてポストコロナ社会を見据えた運動に取り組んでいかなければなりません。「2030年ビジョン」の実現にむけて、労福協、労働団体、福祉事業団体がこれまで以上に連携を深め、一丸となって取り組みを進めていきましょう。

本年もよろしく

お願いいたします

(一社)千葉県労福協役員

会長	鈴木 光	連合千葉
副会長	小谷 裕	中央労金 千葉本部
副会長	林田 博史	こくみん共済 千葉推進本部
副会長	上山 精一	千葉厚生協連
常務理事	宮崎 弘志	千葉県労福協
理事	牧野 昌子	NPO法人 地域創造 ネットワークは
理事	津崎 暁洋	野田地区労福協
理事	川田 和広	連合千葉
理事	伊藤 成司	連合千葉・ 自治労千葉本部
理事	水野 準一	連合千葉・ 基幹労連
理事	小山 正寿	連合千葉・ 県私鉄
理事	南村 定男	連合千葉・UAセ ンセン千葉支那
理事	菅生 利治	中央労金 千葉本部
理事	杉浦 高志	こくみん共済 千葉推進本部
監事	本村 敏昭	連合千葉・ 電機連合
監事	山崎 晶史	中央労金 千葉本部
監事	秋山 和彦	こくみん共済 千葉推進本部
顧問	岡田 勝	2代目会長
顧問	黒河 悟	4代目会長

地区労福協

年頭のご挨拶



会長 大森 逸代

新年あけましておめでとごいびぎます。
 旧年中は安房地区労福協に對しまして、たくさん
 のご支援を賜り、心より感謝申し上げます。
 安房地区では、會員相互の親睦を図るとともに、労
 働者自主福祉運動につなげられるよう、進んでいる
 ところであります。昨年も新型コロナウイルス感染症の影
 響により、地区行事を中止せざるを得ない状況となつてしまいま
 した。
 感染症への対応や長時間労働をはじめとする労働環境の改善など、
 誰もが豊かに暮らしていくための課題はたくさんあります。今年も
 千葉県労福協の事業と地区行事をリンクさせながら、安房地区の福
 利厚生事業の推進をめざし、進んでまいります。
 皆様にとって本年が素晴らしい年となりますことをご祈念申し上
 げ、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願ひい
 たします。

安房地区

市川・浦安地区



会長 植木 誠

新年あけましておめでとごいびぎます。本年は相
 変わりをましてよろしくお願ひします。
 千葉県労福協は、「連帯・協同でつくる安心・共生
 の福祉社会」を目指していますが、新型コロナウイルスによ
 り、會員の連帯・協同が難しくなつてあります。
 そのため、會員と家族から喜ばれている「ふなば
 し三番瀬潮干狩り」が団体行動のため、行政の判断により開催が困
 難になっております。
 今年度は、連帯・協同ができる新たな活動として、會員の家族が
 楽しめるような、映画鑑賞・動物園見学・大規模な公園散策等を開
 催したいと思つてあります。
 ウクライナ侵攻により国際情勢の変化に伴い、物価・エネルギー
 の高騰で、安心・共生が脅かされている状態です。これを打開する
 には、勤労者福祉の向上のために福祉団体と連携を図り、充実した
 活動を展開します。



会長 山崎 良夫

昨年最大の出来事と言えば、ロシアによるウクライナへの武力
 侵略で世界に暗い影を落としたことでしょうか。武力ではなく話し合
 いで解決できる国際社会をどうするか人類にかけられた課題であ
 り、私たち国民も日本政府の対応や国際社会の動向に関心を持たな
 ければならないと思ひます。
 昨年からは国内では、止まらぬコロナ感染と連続する物価高に不安
 と悲鳴が上がつてあります。
 實上げもかわらず、年金は減らされ、医療や介護の負担増に苦しむ国民をしり目に、今
 の政府はロシアのウクライナ侵略を口実に軍事費を2倍化して、自衛を超える憲法違反
 の反撃能力を保有すると言つてあります。
 日本は嫌と言つほど戦争の惨禍を経験した反省から、憲法9条をはじめ人権保障を国
 際社会に宣言し、今まで外国との戦争を回避してきました。
 今、政治がなすべきことは、3年も続くコロナウイルス感染症に對し、医療供給体制
 (医師や医療関係者)の充実と最低賃金を1,500円に引き上げ、國民の生活を潤す社
 会保障の充実で國民の生活を守り、世界に向けて核兵器廃絶をはじめ戦争の火種を無く
 す、平和を構築する外交努力ではないでしょうか。今の軍備拡大の政治姿勢を転換させ
 混迷する國民の暮らしに光をあてる希望の見える一年としたい。

匝瑳地区

長生茂原地区



会長 菰田 智之

動して参ります。

さて、長生茂原地区労福協では昨年度も、感染症対策に配慮しながらの活動を継続しました。中央労働金庫茂原支店の支援を受け、成人年齢が18歳に引き下げられたことに伴うトラブル防止セミナーを開催して、参加者の皆様と情報を共有しました。大変好評を得たこのセミナーをアップデートして開催を予定しておりますので、多くの皆様の参加をお待ちしております。本年が皆様にとって幸多き一年となることを祈念し、念頭の挨拶とします。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

銚子地区



会長 鎌倉 金

の高騰など大変な一年でした。

しかし、その状況だからこそ人と人の繋がり、日常生活の大切さを再認識させられたような気がします。大変な状況だからこそ家族との触れ合い、友人とのお付き合いを大事にしたいものです。

そして、私たちの個人生活を支えるのは「勤労」に他なりません。コロナ以来銚子労福協の理事会は書面持ち回りが多くなりましたが、昨年は何度かリアルな会議をすることが出来ました。

会員の皆様が集まり、知恵を寄せ合う事が明るい未来を創ると感じています。今年も、どうぞ宜しくお願いします。

野田地区



会長 津崎 暁洋

を開催するとともに、加盟組合の協力企画でもある「Web料理教室」本年は雪印メグミルク労組によるバター作り体験」も実施するなど、「今できる最善の変化対応」をモットーに「活動の質」を維持してきました。また、定期的な活動として「フードドライブ活動」を継続実施し、多くの助け合いの精神が結集しました。

労働者を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いていますが、そのような時こそ連帯・共助の精神を大切に、2023年も労働者自主福祉運動の充実を図ってまいります。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

千葉市地区



会長 水野 準一

新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルスは未だ収束が見通せない状況にあります。昨年の千葉市地区労福協は、少しづつ以前の活動に回帰することを志向して取り組みをすすめてきました。具体的にはソーシャルディスタンスを確保しながら3年ぶりの集合による定期総会開催やボウリング大会を開催するとともに、恒例の講演会についてはWEBを活用して開催してきたところです。一方で、毎年多くの方に参加をいただいているチャリティいちご狩りは開催を見送らざるを得ませんでした。今後も会員相互のつながりを構築すべく、様々な活動を通じて労働者福祉の一助となるよう努めてまいります。

本年が組合員とご家族の皆様にとって幸多き一年になりますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

どうぞよろしくお願ひいたします。

政策・制度を 千葉県に要請する!!



商工労働部雇用労働課で要請書を手渡しする鈴木会長

令和4年度 千葉県予算に対する要請内容

- ① 千葉県労働者福祉協議会についての要望
- ② SDGs（持続可能な開発目標）の達成と協同組合・協同組織の促進・支援
- ③ 大規模災害等の被災者支援と復興・再生および防災・減災対策の強化
- ④ 労働者の働き方・生活安定に関する要請
- ⑤ 暮らしの安全・安心について
- ⑥ 貧困のない社会に向けたセーフティネットの強化
- ⑦ 消費者行政の充実強化
- ⑧ 平和と人権の尊重
- ⑨ 自死・多重債務対策等
- ⑩ フードバンク活動の促進

千葉県労協は、政策活動として「千葉県予算に対する政策・制度の要請」を行っています。8月理事会で方針決定して以降、中央労協の政策、「2022年全国福祉強化キャンペーン」における全国共通課題、構成組織や連携団体からの政策要望等を受け止め議論を重ね、10月の第69回理事会で取りまとめを行いました。千葉県に対しては、11月18日（金）千葉県庁において鈴木会長はじめ、副会長、常務理事の3名で商工労働部雇用労働課へ要請書の提出と要請内容の説明を行いました。



講義のようす

2022年度

労働組合のための 税務研修会

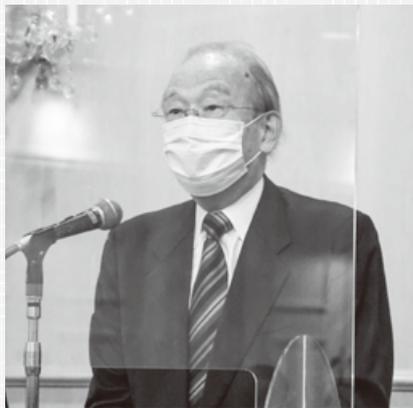
開催する!!

2022年12月9日（金）千葉県教育会館において千葉県労協「2022年度労働組合のための税務研修会」を開催しました。

研修会は、労働組合等の役職員の皆さんに参加を頂き、講師には長年にわたり指導頂いている税理士の関口邦興氏を招き開催しました。

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により人数を縮小して開催いたしました。

また、研修会終了後には個別質問の時間を設け、相談者の方に対し指導を頂く等、有意義な研修会となりました。



中央労協 講師団 講師
高橋 均氏

労働者福祉東部
ブロック協議会

第57回

定期総会

開催



岡田会長



鈴木副会長



退任した会長、副会長と中央労福協南部事務局長

全議案が承認され、岡田会長（東京労福協）、鈴木副会長（千葉県労福協）、中山副会長（長野県労福協）が退任いたしました。新会長には吉成氏（栃木県労福協）、新副会長には池富氏（静岡県労福協）、近藤氏（埼玉労福協）が就任いたしました。

2022年11月30日（水）茨城県「水戸京成ホテル」において「労働者福祉東部ブロック協議会第57回定期総会」が開催されました。

2022年度 労働者自主福祉運動シンポジウム 開催する!!

今年も、新型コロナウイルス感染症の影響により、人数を縮小し、Zoomとの併用での開催となりました。参加者からは「あらためて勉強になった」等の声があり、好評でした。

開催目的である「労働者自主福祉運動の歴史と課題」を理解し、また各事業団体からの問題提起を互いに認識・共有化するためのシンポジウムとなりました。

2022年11月5日（土）、オークラ千葉ホテル（千葉市）において千葉県労協主催の「2022年度労働者自主福祉運動シンポジウム」を中央労金千葉本部、こくみん共済coop千葉推進本部、連合千葉、中央労金千葉本部、こくみん共済coop労働者支部千葉分会の共催により開催しました。



主催者あいさつ
鈴木会長

シンポジウム次第

- 講演
「連帯か競争か～日本の協同組合と労働組合の源流を訪ねて」
～戦後労働運動と労働金庫、こくみん共済coop（全労済）の歴史を振り返る～
講師 中央労福協 講師団 講師 高橋 均 氏
- 事業団体からの提起
「コロナ禍における〈中央ろうきん〉の生活支援取組について」
中央労働金庫千葉支店 萩原 佑哉 氏
- 事業団体からの提起
「防災・減災への心がけについて」
こくみん共済coop千葉推進本部南部支所 杉田 起康 氏

過労死等ゼロに向けた周知・啓発街宣

連合千葉は、11月8日(火) 17時15分から千葉市内で毎年約200件も認定されている過労死・過労自殺ゼロに向け、11月の過労死等防止啓発月間にあわせて街宣行動を行いました。

街宣では永富会長から過労自死の要因である長時間労働の是正と年休取得による心身のリフレッシュ等ワークライフバランスを呼びかけ、また働くことで悩みを抱えたら連合の**なんでも労働相談ダイヤル(0120-154-052)**への相談を呼びかけました。



連合千葉 永富博之会長 JR千葉駅

12月度全国労働相談ホットライン周知街宣

連合千葉は、7つの地域協議会の協力のもと、12月8日(木)～9日(金)にかけて実施しました連合の「全国一斉労働相談ホットライン」について主要駅を中心に「STOP 長時間労働」をテーマに、街宣による周知・啓発を行いました。



東葛地域協議会 JR柏駅



連合千葉

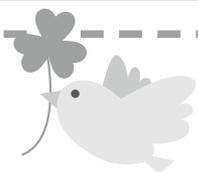
なんでも
労働相談
ダイヤル

フリーダイヤル いこうよれんごうに

0120-154-052

第47回 千葉県消費者大会

わたしたちの食卓事情 ～パンデミックやウクライナ侵攻から見たこと～



今、世界情勢(コロナ禍、ウクライナ侵攻、気候変動による大規模災害など)の影響で食品の価格が高騰し、暮らしを直撃しています。

今回の消費者大会では、元NHK解説委員室 解説副委員長の合瀬宏毅さんを講師に迎え、世界の中での日本の食を考え、暮らしを守るための食料確保や食品の価格などについて考えます。

■日程：2023年**2月7日(火)** 14:00～16:00 (開場 13:40)

■場所：千葉市文化センター (9階) 会議室Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
(千葉市中央区中央2-5-1)

■参加費：**無料** (託児はありません)



講師：合瀬宏毅さん

申し込み
方法

千葉県民の方、個人、団体所属の方、どなたでも参加できます。
お名前・団体名・電話番号をご記入の上 **Fax 043-225-3459** に送付ください。
申込み締め切り：2023年1月31日(火)

※連絡・お問い合わせ先：消費者団体千葉県連絡会事務局(千葉県生協連内) TEL 043-224-7753

中央ろうきん LINE 公式アカウント

ぜひ「お友だち登録」をお願いします！

お役立ち情報や
キャンペーン情報
などをお届けしています♪



「お友だち登録」方法

二次元コードから

LINEの友だち追加画面で下記「二次元コード」を読み取り、追加ボタンをタップして登録。



友だち検索から

LINEアプリホーム画面の「検索窓」に、「中央ろうきん」と入力して検索し、追加ボタンをタップして登録。

【アカウント名】

中央ろうきん

ID検索から

LINEの友だち追加画面で「検索」を選択のうえ「@chuorokin」と入力して検索し、追加ボタンをタップして登録。

【ID】

@chuorokin



中央労働金庫千葉地区各営業店のお問い合わせ（TEL）

千葉支店 043-251-5161	野田支店 04-7125-2525	市川支店 047-376-3311	銚子支店 0479-22-8484
館山支店 0470-22-1111	茂原支店 0475-23-6611	船橋支店 047-434-2784	松戸支店 047-365-8185
市原支店 0436-21-2181	木更津支店 0438-25-5511	成田支店 0476-24-2211	八千代支店 047-486-2525
柏支店 04-7163-4567	成東支店 0475-82-4111	津田沼支店 047-403-6070	
千葉県庁前出張所 043-221-5311	流山おおたかの森ローンセンター 04-7199-9821		

【2022年12月1日現在】

手頃な掛金で
住まいと家財を
トータル保障！

住みいる共済

火災共済・自然災害共済

風水害等給付金付火災共済・自然災害共済・個人賠償責任共済

こくみん共済 NEWS
coop

火災などのとき

共済期間中に火災・落雷・他人の住居からの水ぬれなどにより損害が生じたとき

最高保障額 **6,000万円**

風水害などのとき

共済期間中に暴風雨・突風・台風・高波などにより損害が生じたとき

最高保障額 **4,500万円**

地震などのとき

共済期間中に地震・噴火・津波などにより損害が生じたとき

最高保障額 **1,800万円**

暮らしを第一に考える
安心のポイント

- 住宅の70%以上の焼破損割合で「全焼損扱い」なので安心
- 家財のみでも加入できます！
- 古い住宅や家財でも、「再取得価額」で保障

もしものときも、
住宅・家財損害の事故受付は
365日・24時間対応で
受け付けているから安心！

ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。ご契約の際は「ご契約のてびき（契約概要・注意喚起情報）」を必ずご確認ください。
たすけあいの輪をむすぶ

お問い合わせは、所属の労働組合または、
こくみん共済 coop 千葉推進本部各支所までお願いします。

- 中部支所 TEL:043-287-8247 FAX:043-287-8136
- 西部支所 TEL:043-287-8264 (3支所共通)
- 南部支所 TEL:043-287-8294 [営業時間] 平日9時～17時(祝日除く)

全労済から「こくみん共済 coop」へ

こくみん共済〈全労済〉

全労済生活協同組合連合会 coop

千葉推進本部(千葉県労働者共済生活協同組合)

たすけあいから生まれた保障の生協です。
「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

1219B033.20.05KD

ろうきん

あけまして
おめでとーございます

本年もよろしくお願ひ申し上げます

令和五年 元旦

はたらくあなたの
いちばんそばに。



中央労働金庫千葉地区の各お問い合わせ(TEL)

千葉支店 043-251-5161	野田支店 04-7125-2525	市川支店 047-376-3311	銚子支店 0479-22-8484
館山支店 0470-22-1111	茂原支店 0475-23-6611	船橋支店 047-434-2784	松戸支店 047-365-8185
市原支店 0436-21-2181	木更津支店 0438-25-5511	成田支店 0476-24-2211	八千代支店 047-486-2525
柏支店 04-7163-4567	成東支店 0475-82-4111	津田沼支店 047-403-6070	
千葉県庁前出張所 043-221-5311	流山おおたかの森ローンセンター 04-7199-9821		

【2022年4月1日作成】

「もしも」に備え
「もしも」を防ぎ
「もしも」に向き合う。

こくみん共済 NEWS

「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会」の実現に向け、
皆さまとともに取り組んでいきます。



公式キャラクター
ビットくん

たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済 <全労済>

全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。